

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)

富山県国際健康プラザ

健康課

2 施設所在地

富山市友杉151番地

3 施設設置年度

平成11

年度

4 設置目的

すべての県民が健やかでやすらぎのある生活を送ることができるよう、県民の健康に対する意識の向上及び県民一人一人の健康づくりを支援し、併せて、国内外に向けて健康づくりに関する情報を発信する。

5 施設概要

敷地面積：10.7ha

主な施設

- ・生命科学館：1,756㎡
- ・健康スタジアム：トレーニングゾーン、屋内プールゾーン等 5,024㎡
- ・屋外健康づくり施設：トリムコース、じゃぶじゃぶ池等 約6万㎡

6 指定管理者

公益財団法人富山県健康づくり財団

7 指定期間

3

年

令和7年4月1日

～

令和10年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
111,139	144,055	164,160	168,631	160,996

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R3	R4	R5	R6	R7
28,669	39,299	46,732	52,050	63,185

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
88,949	89,150	89,150	89,150	81,370

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- 1) 国際健康プラザの健康スタジアム利用者数は、前年度比120.5%増となり、利用料収入は、前年度比121.4%増となった。
- 2) 障害者とその介助者の利用料金を減免した。(障害者と介助者27,429人、対前年度比121.8%)

(2) サービス向上に向けた取組み

- 1) 県内初となる国内著名インストラクターによる映像レッスンを令和7年4月から導入し、そのPRに努めた。
- 2) 主に1回利用者の活性化を図るため、12～3月の間「来館者サービス・チケット引換え制度」を実施した。
- 3) 令和7年度から新たな栄養講座として、受講者に各種主菜等をセレクトしてもらう「体験型食習慣改善セミナー」を年2回開催した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- 1) 4月から大スタジオの床リニューアルのPRとともにシューズ利用のPRに努めた。
- 2) 令和7年度から料金改定を行い5～10%値上げした。利用料金収入は、前年度比121.4%増となった。
- 3) 料金値上げによる買い控え対策及び床リニューアルPRのため、期間利用（定期券タイプ）の割引キャンペーンを4～5月に行った。
- 4) 健康増進センターとの連携を強化し、増進センターの特定保健指導者受診者に健康プラザ優待券の付与及び期間利用割引券を付与、利用増を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	「お客さまの声」の箱を設置し、アンケート用紙を随時回収
回答者数	89件
結果	1) 浴室のマットが汚れている。 2) 初級エアロを増やしてほしい。 3) 露天風呂で長居している人がいる 他
結果を踏まえた改善事項	1) 新しい物に交換した。 2) ご意見を集約し工夫したい、と回答した。 3) 見回り時に声掛けすることとした。

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・公募モニター(8名)によるモニター会議を年2回開催し、施設の運営方法等について説明を行うとともに、意見・要望を聴取し、施設運営に反映させている。

③主な苦情と対応

- 1) プールの時計がバラバラで合っていない。
→定期的に合わせることにした。
- 2) 回数券があれば便利だ。
→R8年度から設定することとする。
- 3) 空間走路は、歩く日・走る日もしくは時間で区切ってほしい。
→区切ることは難しいので現行とおりにした。
- 4) 入館時に受付で利用料減免のための障害者確認の際、手帳の期限を聞くのは不愉快である。
→今後は、手帳で確認することを徹底した。

(5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関する指針を定めて、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- 1) 県内の運動型健康増進施設等32施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」において、カスタマーハラスメントや認知症と思われる利用者対応等について意見を取りまとめ、情報を共有した。
- 2) 太閤山ランドで健康プラザ利用者のウォーキングを実施した。
- 3) 富山県エアロビック連盟と共催で「エアロビックダンスフェスティバル」を9月と1月に開催した。
- 4) 北陸予防医学協会が主催する「心不全予防教室2025」に協力し、研修室及びトレーニングゾーン、バーデゾーンを会場として提供した。
- 5) 立命館大学の「低酸素環境がもたらす健康増進効果」の研究に会場の提供及び参加者募集を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

- ・適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・富山市消防局と連携した防火訓練の実施
- ・危機管理マニュアル等に基づくAED講習会の実施(3月)
- ・カスハラ対策として、監視カメラを受付に増設した。また、既存のカメラを目が届きにくい場所(2階親子ふれあい広場、じゃぶじゃぶ池)に移設した。

10 所管課の管理運営確認状況

	有／無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	3
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、計画的な修繕・更新が必要
- ・市町村、企業等への利用促進による県内全域からの幅広い年齢層の利用の促進
- ・関係団体、施設との連携による健康増進の中核施設としての機能強化
- ・イベントの実施等による施設の一層の周知
- ・健康づくりに関して集積した情報やノウハウの公開
- ・「市町村の日」の活用をさらに呼びかけるとともに、利用可能日の拡充
- ・効率的な運営に向けた業務の見直しによる費用の削減徹底
- ・受付システムの更新や利用料金の決済方法の多様化に向けた、キャッシュレス決済の導入